

◇研究理由

- ・身体に不自由のある人の視点に立ち少しでも安心して生活できるよう支援がしたい。
- ・いろいろな視点から地域を見つめ現状を把握し、地域に貢献したい。
- ・この活動を通して学んだことを、将来の仕事に活かしていきたい。

◇研究概要

その① 身の周りがあるユニバーサルデザインを探す。

～見つけたユニバーサルデザインの例～



大きくて色がはっきりした UD 教科書



誰もが押しやすい大きなスイッチ



重くても持ちやすいペットボトル



リンスとの違いが分かるシャンプー容器のギザギザ



入れる方向や金額がわかるくぼみのあるカード

◎どのユニバーサルデザインにも「すべての人」を対象にして考え作られている!!

その② 街中のユニバーサルデザインマップを作成する。

目的: 地域のユニバーサルデザイン化の状況を知り、情報を提供することで利用者が安心して利用できる。

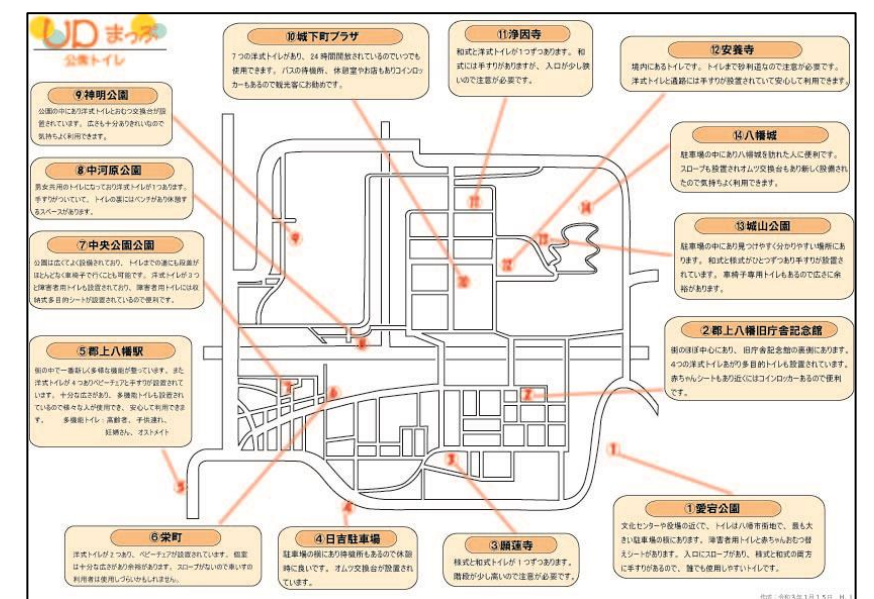
対象者: すべての人 対象施設: 公衆トイレ 範囲: 八幡町街中

主な情報: 設置されているもの、トイレ周辺の状況、注意するところ

～完成したマップ～



旧マップ



新マップ

◇活動を通して

・活動内容①では、5 つのもの以外にもマジックテープ付きの靴や牛乳パック、リモコンなどのさまざまなユニバーサルデザインを見つけることができました。見つけたものを実際に使ってみたりしながら、誰にどのような効果があるかなど自分なりに考えることができ、普段何気なく使っているものでも視点を変えて見ることによっていろいろな発見がありました。

・活動内容②では、総合学科の先輩方が作成した十数年前のマップから今の地域の様子を比べることができ、ユニバーサルデザイン化がかなり進んでいることが分かり地域の状況を把握できたと思います。自分が思っていたよりも十分な設備が揃っていて生活しやすい環境になっていると感じたので、さらにユニバーサルデザイン化が進むといいなと思います。